

議 会

だより

No. 277
議会広報委員会

定例会

平成26年第2回定例会は6月17日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■ 調査期日 4月15日(火)

□ 調査事項

① 保健指導事業について

② 介護保険事業について

□ 調査結果

①② 指摘事項なし

■ 調査期日 6月10日(火)

□ 調査事項

① 農業施策について
(新農業政策関連)

□ 調査結果

① 指摘事項なし

原案可決

○北竜町税条例の一部改正について

○北竜町国民健康保険条例の一部改正について

○北竜町社会教育委員に関する条例の一部改正について

○北海道市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について

○平成26年度北竜町一般会計補正予算(第1号)について
・既定予算額に60,963千円を追加し、総額を2,841,963千円とする。

○平成26年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
・既定予算額から4,836千円を減額し、総額を351,164千円とする。

○平成26年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
・既定予算額に1,772千円を追加し、総額を229,772千円とする。

報告済

○平成25年度北竜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について

意見書の提出について

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○手話言語法(仮称)の制定を求める意見書について

○ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書について

○2015年度地方財政の充実・強化を求める意見書について

○憲法解釈変更による「集団的自衛権の行使容認」に反対する意見書について

一般質問

2名の議員から2件の一般質問がありました。
質問内容については、8月号に掲載予定です。



町内 行政視察

6月13日、町理事者・担当課長の出席のもと、町内の行政視察を実施しました。

視察場所

農村環境改善センター、永楽園、金比羅公園、恵岱別荘、三谷町有林、保育所、農業体験宿泊施設、碧水浄化センター、美葉牛研修センター、眺望の丘、いちいの森、ひまわりの里他



美葉牛研修センター



三谷町有林



いちいの森

議員コラム

～手紙～

▼2月に、北見に住む40年来の友人(女性)から手紙が来た。久しく、女性からお手紙を頂いた事がなかったので、意味もなくドキドキしながら封を切ると、情報誌の切り抜きと大き目のフセン一片に文章があり、北見で78,000世帯に無料配布されているタウン誌で「北竜町」が紹介されていて、「送った」と言うことであった。

内容は、北見のご夫婦が昨年夏に北竜のサンフラワーパークに宿泊したが、スタッフの明るく親切な対応と、何より泊まった和室のトイレから部屋の全てがホコリも無く、実に丁寧に掃除されていて、これが北竜の「おもてなしの心」かと感心した。と言うものだった。

現場で働く一人ひとりのま

ごころが込められている事への高い評価でありました。そう云えば、黄倉さんが北竜農協の組合長だったとき「トイレは事務所の顔だから、常にきれいにしておくように」と話していた事を思い出したのです。(切り抜きはすぐ町長に届けておきました)

▼5月、代掻きの真つ最中にJA支所の高木君が、ある感謝の手紙を届けてきた。音更に住む女性からで、内容はがんで闘病していて50歳で亡くなった妹さんの事で、今年になつてから殆ど何も食べる事が出来ず、点滴で命をつないでいた時に、2月になってから、「もちが食べたい。年の暮れに食べた雑煮が食べたい。しかし添加物の入った食べ物体が受け付けない」と打ち明けられたと言う。そんな時、JA木野のハピオで北竜の低

農葉「風の子もち」を見かけて求め、家族でもちをつき、母親が雑煮を作り、父親が練った餡を入れた、小さな小さな餅を病床に届けて、うれしそうに食べてくれた事が何よりの喜びであった。そして、それが最後の口から取れた食べ物になり、3月に50歳で旅立つたというものでありました。ご家族の情景を思い浮かべ、涙ながらに読みました。49日に当たり、JA北竜と生産者に対して「いのちの糧」に感謝する心を届けていただきました。

黄倉さんのよく言う「手と心をつくして、いのちの糧を届ける」ことの大切さを今さらながらに深く思い、生産者にとつてはこの上なくうれしくもあり、そして実にせつないお手紙でした。

(澤田)